

制定	年 月 日	アツデン技術標準	分類	
実施	年 月 日	33-507-01 調整仕様(41XT)	番号	

1. VCOの調整
 - (1) 周波数設定SWを2.0にセットする
 - (2) TP1にDC電圧計を接続する。
 - (3) DC電圧計の指示が、1.0VになるようにVC101 (VCOのトリマー) を調整する。
 - (4) 周波数設定SWを0.8にセットし、DC電圧計の指示が2.4Vになっていることを確認する。
2. 送信出力の調整 (周波数設定SWを5.5にセットする。アンテナは未接続)
 - (1) スペアナをCN1に接続する。
 - (2) VC2をスプリアスが最小になり、キャリアが最大になるように調整する。
 - (3) パワー計をCN1に接続する。
 - (4) パワー計の指示が、30mWになるようにVR2を調整する。
3. 送信周波数の調整
 - (1) 周波数設定SWを5.5にセットする。
 - (2) 周波数カウンターをCN1に接続する。
 - (3) 周波数カウンターの指示が、800.000MHz \pm 2kHzになるようにVC1を調整する。
4. トーン変調度の調整
 - (1) 直線検波器をCN1に接続する。
 - (2) 変調度が2.0kHz \pm 0.2kHzになるようにVR1を調整する。
5. AF変調度の調整
 - (1) オンレーターの出力をマイク端子に接続する
 - (2) オンレーターの出力を-22dBs (周波数は1kHz) に設定する
 - (3) 変調度が50kHz \pm 0.5kHzになるようにVR201を調整する

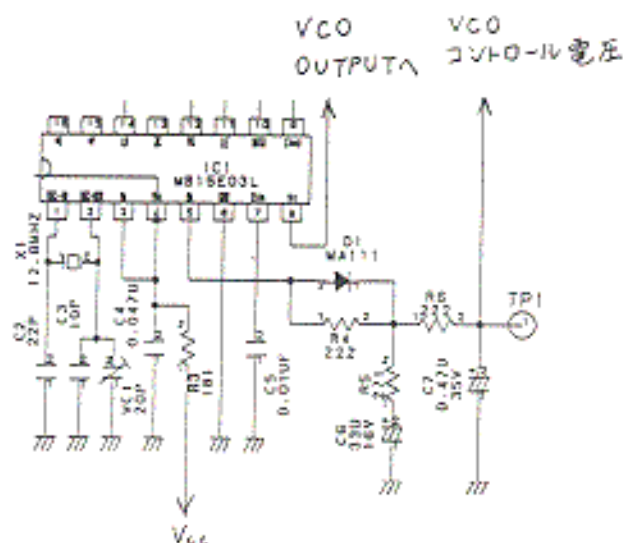
改定記事	・						
	・						
	・	AZDEN CORPORATION					
	・	FCC ID: BZB41XT					
	・	EXHIBIT #: 9A					
配布先		検印		検印		検印	作成 大野 '99.1.23

33-507 (41XT)

回路主要部説明

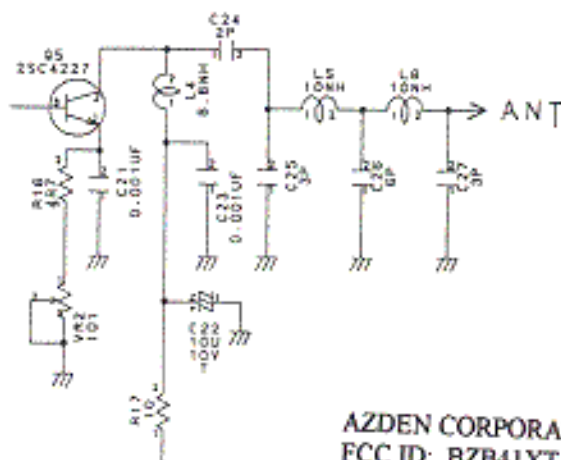
(1) 周波数の安定化

発振方式はシンセサイザ方式であり、シンセサイザの周波数安定度は、水晶振動子の性能で決まり、本機では -10°C から $+60^{\circ}\text{C}$ にて、周波数偏差 ± 10 ppm以内（メーカー規格値）の性能を持つ、東京電波K. K. 製の水晶振動子を使用しています。



(2) スプリアスの輻射抑圧

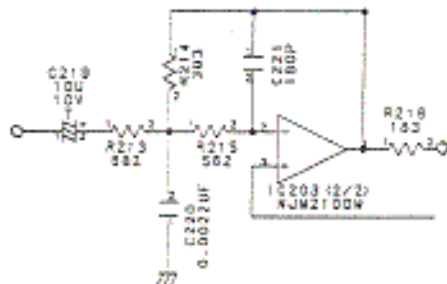
スプリアスの輻射抑圧の為に、電力増幅の後にLC構成のフィルタを挿入しています。下記の様なπ型2段構成のローパスフィルタとなっています。



AZDEN CORPORATION
 FCC ID: BZB41XT
 EXHIBIT #: 9B

(3) 変調の制限

AF部にOP. AMP (IC203<2/2>NJM2100M) を使用して、OP. AMPの飽和特性を利用して変調の制限をしている。



AZDEN CORPORATION
 FCC ID: BZB41XT
 EXHIBIT #: 9c